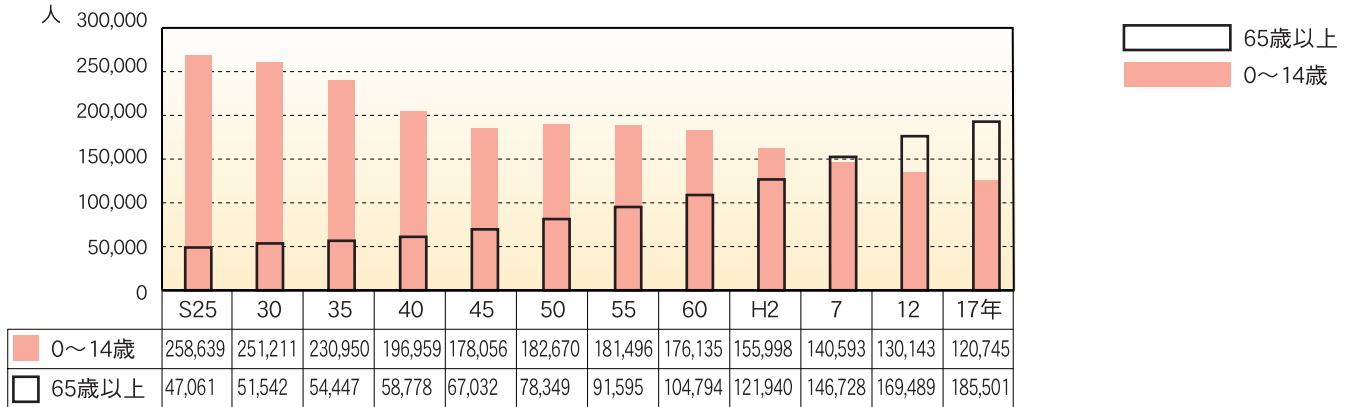


高齢化・健康長寿

★平均寿命は男女とも全国2位の長寿県です★

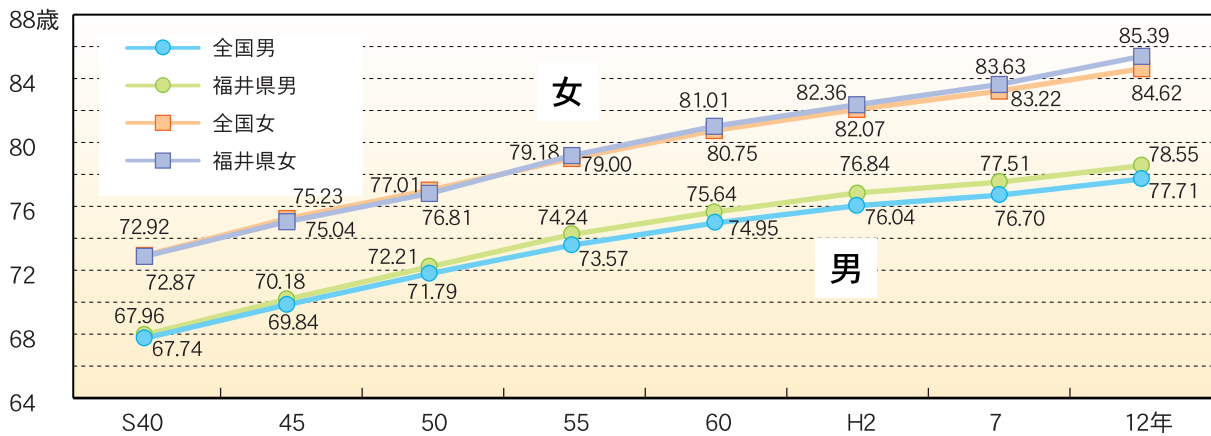
- 福井県では、第1次ベビーブーム期(昭和22年～24年)以降、年少人口(0～14歳)が減少し、老年人口(65歳以上)が増加する傾向が続いています。平成7年には初めて老年人口が年少人口を上回り、平成17年には老年人口が年少人口を約6万5千人上回っています。
- 本県の平均寿命は、昭和40年には男性が全国14位、女性が24位でしたが、平成12年には男女とも2位になり、長野県と並んで全国トップレベルの長寿県になりました。

年少人口および老年人口の推移



資料：国勢調査報告(総務省)

平均寿命の推移



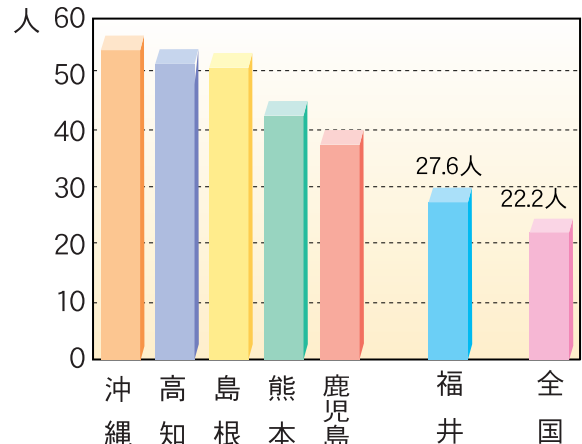
資料：生命表(厚生労働省)

都道府県別平均寿命(平成12年)

順位	男		女	
	都道府県	平均寿命	都道府県	平均寿命
1	長野県	78.90	沖縄県	86.01
2	福井県	78.55	福井県	85.39
3	奈良県	78.36	長野県	85.31
4	熊本県	78.29	熊本県	85.30
5	神奈川県	78.24	島根県	85.30
6	滋賀県	78.19	岡山県	85.25
7	京都府	78.15	富山県	85.24
8	静岡県	78.15	山梨県	85.21
9	岐阜県	78.10	新潟県	85.19
10	埼玉県	78.05	石川県	85.18

資料：生命表(厚生労働省)

人口10万人あたり100歳以上高齢者数(平成18年9月)



資料：厚生労働省調べ